

mercari

Mercari Group Code of Conduct

メルカリグループ行動規範

P2

CEOメッセージ

P3 - P4

はじめに

P5 - P8

メルカリのグループミッション

P9 - P11

ファンデーション

P12 - P13

行動規範の実践

P14 - P16

第1章 社会からの信頼

- 1.お客さまと社会からの信頼の構築
- 2.法令・社会規範の遵守と倫理的行動
- 3.サステナブルな社会に向けた責任ある行動
- 4.人権の尊重

P17 - P20

第2章 公正な市場と社会

- 5.公正な競争と信頼関係の構築
- 6.腐敗行為や贈収賄の防止
- 7.反社会的勢力・金融犯罪への対応
- 8.知的財産の保護と活用
- 9.グローバル社会での責任ある行動

P21 - P24

第3章 資産と情報の適切な管理

- 10.情報セキュリティと個人情報保護
- 11.公私のけじめと利益相反の防止
- 12.インサイダー情報を利用した取引の禁止
- 13.適正かつ正確な会計・財務の記録
- 14.透明性のある情報開示
- 15.責任あるコミュニケーション

P25 - P26

第4章 仲間と共に成長する職場

- 16.安全で健康な職場環境づくり
- 17.インクルージョンとダイバーシティ

CEOメッセージ

私たちは、「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」というグループミッションのもと、大胆に挑戦し続けています。

私たちの事業は、物理的なモノやお金に限らず、あらゆる価値がなめらかに循環することで、社会や地球にポジティブなインパクトを生み出すものです。そんな事業を通じたサーキュラーエコノミーの実現に向け、力を合わせ取り組んでいます。

この挑戦を続けるための土台になるのが、ステークホルダーからの「信頼」です。信頼は、私たち一人ひとりの誠実な判断と責任ある行動の積み重ねによってしか築くことはできません。

この「メルカリグループ行動規範」は、変化の大きな社会の中でも、私たちが日々の業務で自信を持って判断し、前に進むための指針です。法令やルールを守ることはもちろん、明確な答えがない困難な課題に向き合うときこそ、この行動規範を、自分自身がどのように振る舞うべきかを考える拠り所としてください。一つひとつの行動の積み重ねが、幅広いステークホルダーからの信頼の構築につながっていきます。信頼を基盤に、グループミッションの達成に向け、メルカリグループらしい成長を共に実現していきましょう。

株式会社メルカリ 代表執行役 CEO

山田進太郎

行動規範とは

私たちメルカリグループは、日々の判断や行動において、高い倫理観と責任が求められます。変化の大きい社会で、正解が一つではない課題に向き合うとき、何を大切に、どう行動するか。大胆に挑戦し、安心して一歩を踏み出すための指針が、この「メルカリグループ行動規範」です。

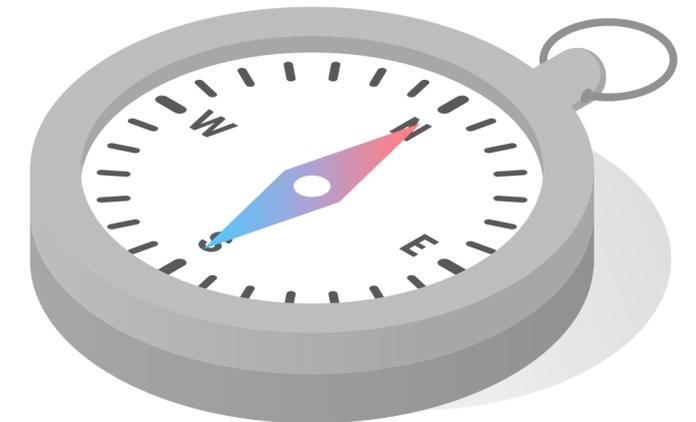
私たちが目指すミッションを達成するには、お客さまはもちろん、株主や取引先、共に働く仲間、地域社会など、あらゆるステークホルダーとの信頼関係が不可欠です。その信頼を築き、守り続けるには、私たち一人ひとりの判断や行動が誰かに影響を与えていることを、常に忘れてはなりません。信頼は一度失うと回復に時間がかかるからこそ、全ての行動に責任が伴います。

この行動規範の実践は、一人ひとりの自律と主体性によって成り立ちます。迷いや不安を感じたときは、独りで抱え込まず、同僚・上長・担当部署に相談してください。相談は誠実な判断のための大切な一歩です。

なお、行動規範は、全ての状況を網羅しているわけではありません。だからこそ、常に自分や周囲の行動が誠実であるかを振り返る姿勢が大切です。立ち止まり、自らに問い、対話を通じて選択する。その姿勢こそが、信頼と倫理的な文化をつくれます。

判断に迷ったときは、自分に問いかけてみましょう：

- お客さまやステークホルダーから信頼される行動か？
- メルカリの目指す姿や、メルカリグループが大切にしている価値観と矛盾していないか？
- チームや会社の信頼や評判を損なうおそれはないか？
- 誰かに相談した方が良いのではないか？



Values、Foundationsと行動規範のつながり

この行動規範は、メルカリの4つのValues (Go Bold / All for One / Be a Pro / Move Fast)を日々の行動へと具体化し、実践につなげるものです。中でも「高い倫理観を持ち、責任のある行動をする」というBe a Proの考え方は、行動規範全体の根幹を成します。

さらに、私たちのカルチャーの根底には、4つのFoundations (Sustainability / Inclusion & Diversity / Trust & Openness / Customer Perspective)が存在します。これらは、行動規範やValuesを支える価値観です。

- Sustainability：地球や社会の未来を見据え、持続可能な選択を日常の中で実践する
- Inclusion & Diversity：多様な個性や背景、考え方や視点を尊重し、
誰もが安心して力を発揮できる環境を育てる
- Trust & Openness：情報をオープンにし、対話を通じて社内外との信頼を築く
- Customer Perspective：常にお客さまの視点に立ち、誠実に向き合い、価値を届ける

これらの価値観を“自分ごと”として日々の選択や行動につなげることが、メルカリの目指す「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」というミッションの達成につながります。

行動規範とCulture Docの違い

行動規範とCulture Docは、どちらもメルカリグループのカルチャーを支える重要な指針であり、互いに補い合う関係にあります。

▶ 行動規範：法令・ルールを遵守し、誠実かつ倫理的に行動するための指針

ステークホルダーとの信頼関係を構築・維持するために、日常の中で、どのように誠実に、倫理的に責任をもって判断・行動するかを具体的に示すものです。迷いや葛藤が生じたときに立ち返る“共通のものさし”として、全ての役員及び従業員が日々の業務で実践していくことを期待しています。

▶ Culture Doc：組織として大切にしたい価値観やカルチャーをつくるための指針

メルカリグループがどんな組織でありたいか、どんな価値観を大切にするかを示したものです。私たちの意思決定や組織づくりの基盤であり、採用・育成・評価の基準としても活用されます。

私たち一人ひとりの行動が、メルカリグループの未来をつくります。この行動規範を日々の判断の拠り所とし、信頼される組織をともに築いていきましょう。

Mercari's Group Mission

あらゆる価値を循環させ、 あらゆる人の可能性を広げる

「地球資源が限られているなか、より豊かな社会をつくるために何ができるか」。2013年、創業者の山田進太郎が世界一周の旅で抱いた課題意識から、フリマアプリ「メルカリ」は生まれました。「メルカリ」は、誰かにとって不要になったモノが次の必要な人に届くマーケットプレイスとして、価値の循環に取り組み続けてきました。この事業を成長させ、世界中で使われるサービスにしていくことが、限りある資源を大切に使う循環型社会の実現につながっていくと考えています。

しかし、私たちが目指しているのは「モノの循環」にとどまりません。近年は、形のない時間やスキル、デジタルコンテンツなどを誰でもどこでも自由に売買でき、それにより生まれる新たな可能性の兆しも見えはじめています。メルカリは、有形・無形を問わずあらゆる価値が循環するエコシステムを創ることで、世界中の誰もが、これまでできなかったことや好きなことを実現できたり、人や社会に貢献できたり、豊かな生活を送ることができる。そんな世界を実現したいと考えています。世界中のモノやコト、そして「人」には、見出されていない価値がまだまだたくさんあり、その価値を必要としている人もまた、世界中に数多く存在します。メルカリは、テクノロジーの力で世界中の人々をつなぎ、あらゆる人の可能性を広げる(=Unleashする)存在を目指します。

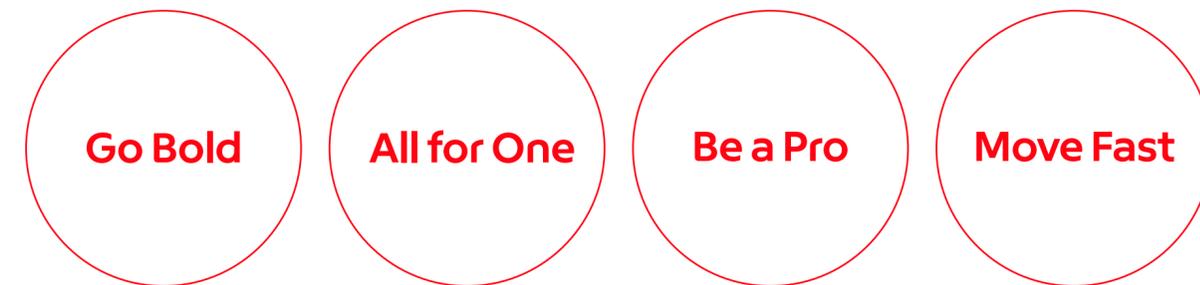


Our Values

メルカリグループはミッションを達成するための行動指針として、4つのバリューを定めています。

採用基準から、人事評価、日々の業務、そして経営判断まで、メルカリに関わる全ての意思決定はこの4つのバリューをもとに行われています。

個人や組織に共通のバリューがあることにより、意思決定を加速させることができます。



Go Bold

大胆にやろう

- 大きな成功のためには、思考のリミッターを外して、試行回数を増やすことが必要です。誰かと同じことをすれば普通の成果しか得られません。失敗や変化を恐れず、普通ではない大胆なチャレンジをし続けます。
- 失敗自体を責めることはしません。ナイストライを賞賛します。
- ミッション達成のために一人一人がやりたい姿を描き、周囲に示すことを重要視します。
- 成功・失敗に関わらず振り返りを言語化して共有することで、組織全体で素早く学び、次のチャレンジの糧にします。

All for One

全ては成功のために

- 自身の専門・担当領域にこだわらず、みんなが一丸となってミッション達成というゴールに向かい、大きな成功を得ることを最優先します。
- 多様なメンバーが強みを発揮しながら、互いを信頼し、尊重し、ひとりでは不可能な大きな成果を出します。
- 議論ではプロフェッショナルとして建設的な意見を述べます。
- 意思決定された内容をリスペクトし、その実現に向けて全員でコミットします (Disagree & Commit)。

Be a Pro

プロフェッショナルであれ

- ひとりひとりがその道のプロフェッショナルとして高い専門能力を発揮するだけでなく、高い倫理観を持ち責任のある行動をします。
- ひとりひとりが自身の限界を引き上げ、バリュー発揮と成果を最大化させるために、心身のコンディションを維持することにオーナーシップを持ちます。
- 好奇心と向上心を持って常に学び続け、ストレッチした仕事をする事で、困難を乗り越え、成長し続けます。
- 今までのあり方にこだわらず、専門性を発揮し、最終的に物事がすばやく進むよう貢献します。
- 自らがメルカリグループが提供するサービスのユーザーとなり、様々な他社のサービスも使い込んだ上で、常に自社のサービスの改善のために貢献します。評論にとどまらず、常に当事者であり続けます。

Move Fast

はやく動く

- 常にスピードを重視します。質の高い意思決定のために多様な意見を尊重しながらも合議にこだわらず、すばやく決断します。
- ミッションに向かい、オーナーシップを持ってまず行動し、そこから学び、はやく物事を前進させることにこだわります。

Our Foundations

メルカリにはミッションを達成するための行動指針として4つのバリューがありますが、ひとりひとりがバリューを最大限発揮するためには、組織の土壌となる価値観が大切です。意識的であることによって発揮されるバリューに対し、ファンデーションは特定の一人ではなく組織全体で育み、大切に作る空気のようなもの。組織としての共通認識を持つことで、メンバー同士のコミュニケーションや意思決定が円滑になると考えています。

Sustainability, Inclusion & Diversity, Trust & Openness, Customer perspective

これらの考え方が組織に空気として流れることで、メルカリは強い組織となり、ビジネスの成長を加速することができると考えています。



Sustainability

メルカリは、誰かにとって不要になったモノが他の必要な人のもとに届くマーケットプレイスであり、メルカリを使っていただく方が増えれば増えるほど、環境にポジティブな影響を与えることができます。

さらにリユースの体験やサステナビリティへの関心の高まりなどから、人々の買う・使う・捨てることに対する意識が少しずつサステナブルに変わること、モノの生産や販売のあり方がアップデートされ、バリューチェーン全体の変化につながります。

地球資源の限界を意味する「プラネタリー・バウンダリー」という概念が広がるなか、私たちは事業を通じて地球環境に対してポジティブなインパクトを生みだし続けていく存在でありたい。

そんな環境課題の解決に貢献したいという思いを、私たちは「プラネット・ポジティブ」と呼び、あらゆる人が可能性を發揮できる社会に向けて、活動していきます。

Inclusion & Diversity

世界は、私たちの想像を超える多様性にあふれています。

ジェンダー・アイデンティティ、性表現、性的指向、宗教、信条、ニューロ（脳や神経）、障がい、民族、国籍、人種、年齢など、さまざまなバックグラウンドを持つ人々がこの世の中には存在します。

メルカリは、それらのバックグラウンドや属性に関わらず全ての人に敬意を払います。さらに、それらのバックグラウンドによって個人の可能性が決めつけられることなく、誰もが簡単に取引に参加でき、自由に価値を生み出す機会を手にできる社会の実現を目指しています。

そのために、メルカリグループ全体で、「インクルーシブなプロダクトやサービスの開発」に向けた取り組みを進めています。

そして、より多くのお客さまにとって「使いやすい」プロダクトやサービスを提供するためには、それらを生み出す私たち自身が多様で、インクルーシブなカルチャーを体現する必要があるという考え方から「社内のインクルージョン&ダイバーシティ推進にも力を入れています。

目に見える違いだけでなく、目に見えない違いも理解し、「メルカリらしいインクルージョン&ダイバーシティ」を推進します。

Trust & Openness

メルカリは相互の信頼関係を大切にしています。信頼を前提にしているからこそ、情報の透明性が保たれ、組織もフラットに構築できます。組織が拡大し、多様性を促進するためのスケーラブルなメカニズムを導入しつつも、社内のルールは最小限にとどめています。

また、多様な意見を尊重するのは、ひとりひとりの自発的な思考や行動が、人の成長や組織の強さに繋がり、意思決定の納得感に繋がると考えているからです。

多様な意見を尊重しつつ、合議にこだわらずに、すばやく意思決定を行い、決定事項には全員が実現のために全力を尽くします。

メルカリが手がけるサービスは、お客さま、パートナーさま、加盟店さまなど多くのステークホルダーによって支えられており、相互の信頼関係が根底にないと成立しません。組織とビジネスの両方を成長させるうえでも、メルカリは信頼と透明性を大切にしていきます。

Customer Perspective

自らがサービスを使い、お客さまだったらどう感じるか、どう思うかを想像してサービスを提供します。お客さまと同じ視点にたち、この施策によってお客さまがどういう気持ちになるかを常に考えます。

また、短期的な視点だけでなく、中長期的な視点でお客さまを含むステークホルダーとの信頼関係を築いていきます。

Central Ideaにもある「あんしんで頼れる」「誰でもカンタン」「使うほどワクワク」「ちょっといいことしてる気分のよさ」という体験を提供し、お客さまがより自由に、より創造的に活動できるよう支援します。

役員及び従業員の責任

この行動規範は、メルカリグループの全ての役員及び従業員に適用されます。ここには、派遣社員、メルカリグループが就業のために雇用または契約した個人が含まれます(以下、あわせて「役員及び従業員」または「私たち」といいます)。私たちは、この行動規範を理解し、日々の業務の中で実践する責任があります。それぞれの行動が、信頼と挑戦に満ちた文化を支える礎となります。

全ての役員及び従業員に求められること

- 行動規範、関連法令、社内ルールを理解し、誠実に従うこと
- 判断に迷ったときは、適切な相手(上司・専門部署など)に相談すること
- 倫理に反する行動や疑わしい言動を見聞きした際には、ためらわず声を上げること

マネージャーに求められること

- 倫理的な判断・行動の模範となること
- チーム内で行動規範の浸透と理解を促すこと
- メンバーの声に耳を傾け、誠実に対応すること
- 安心して声を上げられる心理的安全性を醸成すること

行動規範に違反した場合、または違反を黙認した場合には、社内ルール・就業規則・法令等に基づき、懲戒処分などの対応がなされることがあります。

なお、メルカリグループは、委託先やサービス提供者、ビジネスパートナー等、私たちと共に事業を支えるあらゆる関係者に対して、「メルカリグループ行動規範」と同等の基準を満たすことを期待します。

問題の報告・相談

私たちは、誰もが尊重される安心・安全な職場を守るため、法令違反、不正行為、ハラスメント等の問題について、懸念や疑いを抱いた際は、確信がなくても、上司や窓口を通じ、速やかに報告・相談します。

また、問題に関する調査の要請があった場合には、真摯かつ積極的に協力します。会社は、各社で定められた担当部署や外部の法律事務所といった報告・相談するための窓口を複数設けています。

また、報告したことを理由に不利益を被ることのないよう、会社は声を上げた人を守り、安心して行動できる環境を整えます。

問題に気づいたときに勇気をもって声を上げることが、私たちの責任です。こうした誠実な行動が、お客さま、パートナー、そして私たち自身を守る力になります。一人ひとりが安心して声を上げられる、オープンなカルチャーを全員でつくります。

第1章

社会からの信頼

1. お客さまと社会からの信頼の構築
2. 法令・社会規範の遵守と倫理的行動
3. サステナブルな社会に向けた責任ある行動
4. 人権の尊重

1.お客さまと社会からの信頼の構築

私たちは、お客さま一人ひとりの信頼に応え、社会からの信頼を築きながら、ミッションの達成を目指します。

私たちは、「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」というミッションの達成を目指します。

このミッションの達成には、お客さまはもちろん、株主、取引先、共に働く仲間、地域社会といった全てのステークホルダーとの信頼関係が不可欠です。私たちは、安心・安全なプラットフォームを基盤とし、倫理観を持って誠実に行動し、公正な事業活動を通じて社会からの信頼を築いていきます。

2.法令・社会規範の遵守と倫理的行動

私たちは、一人ひとりがプロフェッショナルとして、法令や社会規範、ルールについて学び、それらを遵守することで、社会からの信頼を築きます。

私たちは、自らの行動や会社の活動に適用される法令やルールを正しく理解し、日々の業務の中で常に意識して、それらを遵守します。

同時に、定められたルールを守るだけでなく、高い倫理観を持ち、社会の期待に応える誠実な判断と行動を心がけます。

急激に変化する社会においては法令やルール、社会の常識も刻々と変わりうることを念頭に置き、一人ひとりがプロフェッショナルとして、常に学び続ける姿勢を大切にします。

3.サステナブルな社会に向けた責任ある行動

私たちは、事業を通じて、
持続可能なサーキュラーエコノミーの実現に貢献します。

私たちは、「プラネット・ポジティブ*」を追求することによって、限りある地球資源が世代を超えて共有されるサーキュラーエコノミーを実現し、その基盤をもとに、あらゆる人が可能性を発揮できる社会をつくっていきます。

私たちはこの事業の本質的な価値を自覚し、誇りを持って日々の業務に取り組みます。同時に、自らの事業活動が環境に与える影響にも責任を持ち、地球の未来のために、私たち一人ひとりが環境負荷の削減に努めます。

*プラネット・ポジティブ ... 地球資源の限界を意味する「プラネタリー・バウンダリー」という概念が広がる中、事業を通じて地球環境に対してポジティブなインパクトを生みだし続けていくことで環境課題の解決に貢献したいという思いを表現した造語

詳細：[メルカリのサステナビリティ](#)
[メルカリのポジティブインパクト\(削減貢献量\)](#)

4.人権の尊重

私たちは、企業活動のあらゆる場面で、
全ての人の国際的に認められた人権を尊重します。

私たちは、お客さま、パートナー、コミュニティ、そして役員及び従業員の一人ひとりが持つ多様なバックグラウンドや文化・価値観を尊重し、誰もが自分らしく、尊厳をもって扱われる社会を目指します。ジェンダー・アイデンティティ、性表現、性的指向、宗教、信条、ニューロ(脳や神経)、障がい、民族、国籍、人種、年齢など、個人の属性に関わるあらゆる差別やハラスメントを許容せず、インクルーシブで安全な環境を、全てのステークホルダーと共に築き上げます。

詳細：[基本的人権ポリシー | 株式会社メルカリ](#)

第2章

公正な市場と社会

- 5. 公正な競争と信頼関係の構築
- 6. 腐敗行為や贈収賄の防止
- 7. 反社会的勢力・金融犯罪への対応
- 8. 知的財産の保護と活用
- 9. グローバル社会での責任ある行動



5.公正な競争と信頼関係の構築

私たちは、公正な競争と消費者保護に加え、
 ビジネスパートナーとの信頼関係の構築を大切にし、
 誰もが安心して利用できる信頼あるサービスを提供します。

私たちは、お客さまをはじめ、取引先や競合他社など、全ての関係者と、公正で透明性のある関わりを通じて、持続的な信頼関係を築きます。そのために、国内外の消費者保護法や競争法を誠実に遵守し、常に公正で倫理的な行動を徹底します。また、金融サービスを提供する立場として、お客さまの利益を最優先に考え、お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、安全で適切なサービス提供に努めます。

私たちに求められる具体的な行動

誤認・誇大表示の禁止

お客さまに誤解を与えるおそれのある表示(虚偽や誇張、事実に基づかない優良・有利な印象を与える表現等)は行いません。

公正競争の徹底

競合他社や提携先との間で価格、キャンペーン内容、機能、市場分配等を取り決める行為(カルテル)は行いません。

優越的地位の濫用禁止

委託先に対して優越的な地位を利用しての不当な要求(一方的な値下げ要請など)は行いません。

パートナーとの対話と共創

中小企業やスタートアップのパートナーの声に耳を傾け、公平で対等な関係づくりに努めます。

適切な金融サービスの提供

お客さまのニーズやリスク許容度をふまえ、不適切な商品やサービスの提案・勧誘は行いません。

迷った際の相談

判断に迷う場合は、必ず法務部門やコンプライアンス部門に相談し、その助言に基づいて行動します。

6. 腐敗行為や贈収賄の防止

私たちは、
贈収賄に関与せず、いかなる相手との間でも
不当な利益の提供や受領を行いません。

私たちは、贈収賄に関連する国内外の法令やルールを遵守します。事業活動において、契約・取引・許認可の獲得や維持などの不適切な目的や、社会通念の範囲を超えるかたちでの金銭・贈答・接待その他の利益の提供や受領を一切行いません。一つひとつの取引における誠実な判断と公正な行動を徹底し、社会からの信頼を守ります。

私たちに求められる具体的な行動

贈収賄防止の徹底

公務員などへ接待・贈答を行う場合は、直接行う場合はもちろん、代理店やコンサルタントなどの第三者を介して間接的に行う場合であっても、所定の社内手続きに従い、事前承認を得る必要があります。

不適切な支払いの拒絶

国内外のパートナーと取引を行う際、現地の商習慣を理由として、手続きを円滑に進めるための不適切な支払い(ファシリテーションペイメント)を求められた場合でも、決して応じません。

迷った際の相談

判断に迷う場合は、一人で抱え込まず、速やかに上長や所管部署に相談します。

7. 反社会的勢力・金融犯罪への対応

私たちは、
反社会的勢力や金融犯罪に毅然と立ち向かい、
一切の関係を持ちません。

私たちは、社会の秩序や安全をおびやかす反社会的勢力と一切関わらず、マネー・ローンダリングなどの金融犯罪や経済制裁違反の防止などの対応にも全力で取り組みます。私たちのサービスが悪用されることを決して許さず、全てのステークホルダーが信頼できる、安心・安全なプラットフォームを守るよう努めます。

私たちに求められる具体的な行動

反社会的勢力への毅然とした対応

反社会的勢力とは、取引関係を含め一切の関係を遮断し、不当要求や資金提供などには毅然と対応します。不当な要求や接触を受けた際は、一人に対応せず、直ちに上長や所管部門に報告し、身の安全を確保のうえで組織として対応を図ります。

新規取引先の事前審査

新たな取引先とは、契約前に必ず審査を行い、社会的に信頼できる相手であることを確認します。

速やかな取引解消措置

既存取引先が反社会的勢力と判明した場合は、取引解消に向け、速やかに適切な措置を講じます。

外部機関との連携

外部の専門機関(警察・弁護士等)と緊密に連携し、法的措置を含む適切な対応を行います。

不正取引の監視と早期対応

サービスや取引の不正監視、本人確認を通じて、不審な活動や金融犯罪の兆候を早期に把握し、問題を発見した際は所管部署に報告のうえで迅速に対応します。

8.知的財産の保護と活用

私たちは、
知的財産を尊重し、保護・活用することで、
イノベーションを加速させます。

私たちは、業務から生まれたアイデア、発明、ノウハウ、デザイン等の知的財産を大切な資産として扱います。これらは会社の競争力の源泉であり、適切に権利を取得・管理・活用する責任があります。創造性と誠実さを持って知的財産を保護・活用することで、持続的な価値創出に貢献します。

私たちに求められる具体的な行動

知的財産の保護

法律上保護可能な知的財産は、法務・知財部門と連携して保護を行います。

情報漏洩の防止

外部との連携や発信の際には、所定の社内手続きを通じて事前に権利関係の確認と必要な承認を得て、情報漏洩を防ぎます。

他者の知的財産の尊重

他者の知的財産を尊重し、無断使用や権利侵害を行いません。

プラットフォーム上の知的財産保護

マーケットプレイスでの知的財産権侵害を未然に防ぎ、お客さまが安心して取引できる場を守ります。

9.グローバル社会での責任ある行動

私たちは、
グローバルな事業展開において、
各国・地域の法令を遵守し、その文化や慣習を尊重します。

私たちは、世界各地の法令や規制を理解し、それらを遵守します。また、私たちが活動する国・地域それぞれの文化や習慣を尊重し、現地の人々から信頼される行動を取ります。世界中の誰もが安心して使えるサービスを通じて、国境を越えた価値の循環を実現し、持続可能な社会づくりに貢献します。

私たちに求められる具体的な行動

異文化理解と尊重

事業を展開する全ての国と地域において、その文化や慣習を理解し、尊重します。

国際法規の遵守

適用される各国・地域の法令及び国際規制を遵守します。

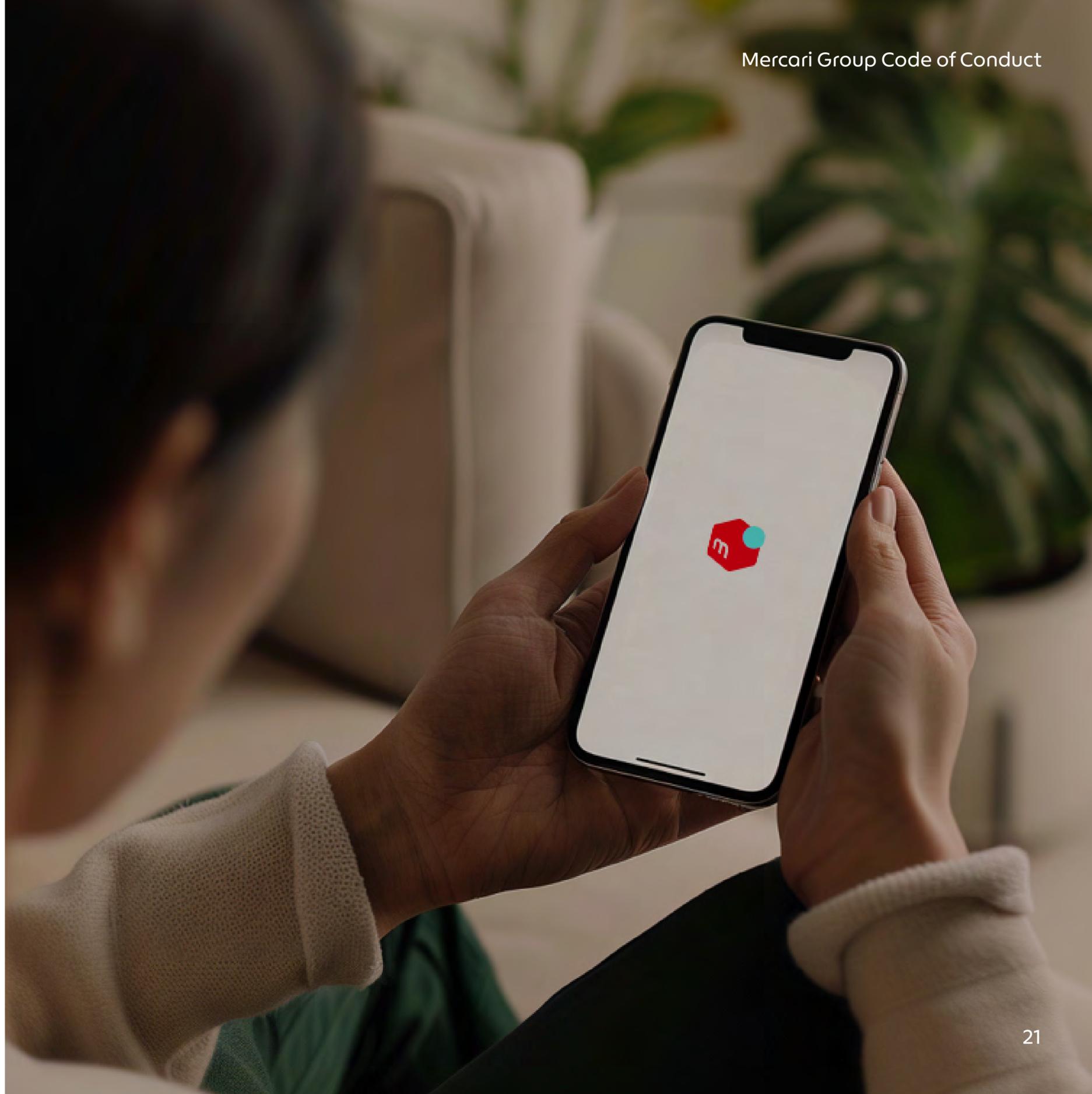
国際的な平和・安全の維持への貢献

貿易管理や経済制裁に関する法令、マネー・ローンダリングやテロ資金供与対策に関する法令を遵守し、国際的な平和と安全の維持に貢献します。

第3章

資産と情報の 適切な管理

- 10. 情報セキュリティと個人情報保護
- 11. 公私のけじめと利益相反の防止
- 12. インサイダー情報を利用した取引の禁止
- 13. 適正かつ正確な会計・財務の記録
- 14. 透明性のある情報開示
- 15. 責任あるコミュニケーション



10.情報セキュリティと個人情報保護

私たちは、
お客様の情報を安全かつ誠実に守ります。

私たちは、お客様一人ひとりの情報を最も大切な資産としてお預かりし、プライバシーを尊重します。情報セキュリティと個人情報保護に関する法令・規範や社内ルールに則り、業務上取得・利用するあらゆる情報を適切に管理し、誰もが安心して利用できるサービスを提供します。

詳細: [メルカリグループのセキュリティ](#)

[プライバシーポリシー - メルカリ スマホでかんたん フリマアプリ](#)

[プライバシーガイド | 株式会社メルカリ](#)

11.公私のけじめと利益相反の防止

私たちは、
会社の資産を適正に管理し、
自身や第三者の利益のためには利用しません。

私たちは、個人の利益を優先するような行動や、そのように見えるふるまいを避け、また、業務上の判断に個人的な利害を持ち込みません。
会社の資産(情報、技術、ブランド、設備、備品等)は、ミッションを達成するための大切な資本です。私たちはこれらの資産を、責任をもって適切に取り扱い、業務目的以外で利用しません。

私たちに求められる具体的な行動

利益相反の事前防止

個人的な活動(副業、投資、社外での役割等)が会社の利益と相反する可能性がある場合は、事前に会社に相談します。

会社資産の管理と適正利用

会社の資産を適正に管理し、業務目的以外に使用しません。

12.インサイダー情報を利用した取引の禁止

私たちは、
公正かつオープンな資本市場の維持に貢献します。

私たちは、企業活動を行う各国の法令を守り、業務を通じて知り得た、メルカリグループや他社に関する未公表の重要事実(インサイダー情報など)を、株式や暗号資産などの金融資産の売買に決して利用しません。また、その情報を家族や友人を含む他者に伝えたり、その情報をもとに取引を勧めたりしません。

私たちに求められる具体的な行動

インサイダー取引の禁止

インサイダー取引に該当する可能性のある行動を避け、法令や社内ルールに基づいた株式や暗号資産などの適切な取り扱いを徹底します。

他者への情報伝達・取引推奨の禁止

未公表の重要情報を他者に伝えたり、その情報をもとに他者に株式や暗号資産などの取引を勧めたりしません。

迷った際の相談

情報の取扱いに不明点がある場合は、必ず所管部門などに確認します。

13.適正かつ正確な会計・財務の記録

私たちは、
全ての企業活動を事実に基づき、
正確かつ公正に記録し、経営の透明性を保ちます。

私たちは、全ての企業活動を事実に基づき、正確かつ公正に記録し、経営の透明性を保ちます。

私たち一人ひとりが、日々の業務における記録が事業運営上の適切な意思決定と社会からの信頼につながることを理解し、プロフェッショナルとして責任をもって行動します。

私たちに求められる具体的な行動

正確かつ迅速な情報提供

経理財務に必要な情報は、会社のルールに従い、事実に基づいて正確かつ速やかに提供します。

適切な会計処理

サービスの追加・変更における会計処理について所管部門と事前に確認し、定められたタイミングと金額で正確に計上処理を行います。

税法・会計基準の遵守

関連する国・地域の税法や会計基準に加え、記帳及び財務報告に関する規制を遵守し、取引を正確に記録・管理します。

14.透明性のある情報開示

私たちは、社会に対する説明責任を果たすため、
企業活動に関する情報を公正かつ透明性高く、
タイムリーに開示します。

私たちは、あらゆるステークホルダーに対して、信頼される情報発信を心がけます。
私たちの事業が生み出す価値はもちろん、社会や地球環境へもたらす影響についても誠実かつ積極的に情報を開示し、社会に対する説明責任を果たします。

15.責任あるコミュニケーション

私たちは、
社会との誠実で信頼される
コミュニケーションを大切にします。

私たちは、一人ひとりがメルカリグループの一員として、自分の発言やふるまいが社会からの信頼に影響することを理解して行動します。取材・登壇を通じた公式な外部発信はもちろん、日々のビジネスパートナーや家族・友人との会話、ソーシャルメディアを通じた個人の発信においても、この姿勢を大切にします。

私たちに求められる具体的な行動

誠実な公式情報の発信

プレスリリースなどの公式情報は、事実に基づき、社会やお客さまに誤解を与えないよう、誠実かつ分かりやすく伝えます。PR部門を中心とする発信者は、定められた社内プロセスを経て、会社の代表としての責任をもって発信します。

個人としての責任ある発信

個人のソーシャルメディアなどで業務に関連する内容を発信する際は、それが会社の公式見解と誤解されないよう、常に発言の影響力を認識し、極めて慎重に判断します。

情報漏洩の防止と事前確認

未公表の製品情報、事業戦略、お客さまに関する情報といった機密情報や技術情報を、個人の判断で発信することは決してありません。判断に迷う場合は、必ず事前にPR部門や関連部署に相談します。

敬意あるコミュニケーション

発信を通じて多様な立場の人への敬意が伝わるよう心がけ、人種・性別・宗教等に関する差別的な表現や、他者を傷つける発言は行いません。

メディア対応の一元化

役職にかかわらず、取材依頼などのメディアとのコミュニケーションは個人で判断せず、速やかにPR部門へ連携します。これにより、会社として一貫した対応を行います。

第4章

仲間と共に 成長する職場

16. 安全で健康な職場環境づくり

17. インクルージョンとダイバーシティ



16.安全で健康な職場環境づくり

私たちは、一人ひとりが尊重され、安心して挑戦できる場所を築きます。

ミッションの達成には、多様なバックグラウンドを持つ役員及び従業員一人ひとりの活躍が不可欠です。そのため、私たちは、心身ともに健康で、誰もがパフォーマンスを発揮できるよう、安全・衛生に関する法令を遵守し、安全で健康的な職場環境づくりに努めます。

物理的な危険や、社内外を問わずあらゆるハラスメントから守られることはもちろん、心理的な安全性も大切にし、役員及び従業員が互いを信頼し、自由闊達に意見を交わせる環境を育て続けます。

17.インクルージョンとダイバーシティ

私たちは、多様な個性と価値観を尊重し、受け入れます。

私たちは、「あらゆる人の可能性を広げる」というミッションの達成に向け、まず私たち自身の多様な個性と価値観を尊重し、受け入れます。一人ひとりが持つ異なるバックグラウンド、経験、視点が交わることで、これまでにない大胆なアイデアが生まれ、プロフェッショナルとして、チームとして、より速く、より大きな価値を社会に提供できると信じています。また、会社は、性別などの属性に関係なく同等の仕事に対して同等の報酬が支払われるよう、報酬の定期的なモニタリングと格差が発見された場合の是正を行います。私たちは、世界中から集う多様なバックグラウンドを持つ仲間の存在を尊重し合うだけでなく、その可能性を広げ合うために、フェアでインクルーシブな環境を全員で作ります。

私たちに求められる具体的な行動

違いから学ぶ

お互いの違いを尊重し、違うからこそ学び合える文化を作ります。

平等な機会を創造

多様なメンバーが4つのバリュー「Go Bold」「All for One」「Be a Pro」「Move Fast」を体現するための平等な機会を創造します。

差別を許容しない

バックグラウンドに起因する差別や不平等を許容せず、定量・定性による現状把握と改善を続けます。

詳細：[Inclusion & Diversity](#) | [株式会社メルカリ](#)

mercari